島根県看護協会情報誌

あかね雲

2021.3.25
NO.174

CONTENTS

◆令和2年度助産師出向支援導入事業
事業報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
◆令和2年度「訪問看護関連事業報告会」を
開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
◆委員会活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
◆支部活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
◆認定看護管理者教育課程
ファーストレベル修了・・・・・・・・・・・・・・P5
◆公益社団法人島根県看護協会
創立40周年記念品について・・・・・・・・・・P5
◆理事会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
◆トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
◆ナースセンターだより・・・・・・・・・・・・・P7.8
◆看護のプロフェッショナルとして
第一歩を踏み出される皆さまへ・・・・・P9

浜田市 / 井川の一本桜

公益社団法人 島根県看護協会

令和2年度助産師出向支援導入事業　事業報告会

専務理事　徳若　光代

県内の周産期医療と助産師の就業先の偏在状況を把握した上で、助産師の出向・受入れを実施し、地域における助産師の偏在是正、助産実践能力の強化等を図り、安全・安心な出産環境整備や周産期医療体制の確保に貢献するシステムの定着を目指している。会場は看護研修センター、サブ会場は益田赤十字病院・隠岐病院（WEB会議）で開催した。

プログラム概要　令和3年3月13日（土）

時　　間	内　　容	演　　者（敬称略）
13:00～	開会あいさつ	島根県看護協会　会長　秦 美恵子
13:10～	県内の周産期医療の現状と課題 県内の看護職員確保対策と課題	島根県健康推進課長　谷口　栄作 島根県医療政策課長　奥原　徹
13:30～	オンライン講演　（Zoom） 「周産期医療・助産師を取り巻く現状と助産師出向支援事業に期待すること」	日本看護協会 常任理事　井本 寛子
14:10～	応援出向　マザリー産科婦人科医院から吉岡医院	出向助産師　金高　ひかり
14:30～	研修出向 松江生協病院から吉岡医院 島根県立中央病院から隠岐病院 島根大学医学部附属病院から益田赤十字病院 隠岐病院から島根県立中央病院	出向助産師 近藤　美穂 植木　実 渡辺　友里恵　　柘植　鈴花 森　恵
15:10～	質疑・情報交換等	

《情報交換の概要》

- 応援出向先への人件費補助があると活用が広がるので、将来への投資と考えてサポートをしてほしい。
- 出向事業を継続する中で、出向元・出向先の交流が深まり、期待以上の教育効果が出ていると実感した。
- 県立大学の助産師学生は、ほとんどが助産師出向事業を活用したいと考えている。中間山間地や離島の医療機関でも、卒後教育の充実している施設を選択している傾向がみられる。
- 井本常任理事から、『助産師のキャリアパスに助産師出向支援導入事業を取り入れる工夫をしているのは、全国の中でも島根県は先進的である。今後も関係機関等の連携を深めて、継続した取組みにしてほしい。』と激励するようなコメントをいただくことができた。

令和2年度「訪問看護関連事業報告会」を開催しました

常任理事　原　徳子

今年度は、「訪問看護ステーション出向研修事業」報告と島根県が行っている「新卒等訪問看護師育成事業」の報告を併せて開催しました。

研修方法は、新型コロナウィルス感染防止のため、看護研修センターと済生会江津総合病院の2会場とし、特別講演はJNAから講師にライブで参加をいただきました。

1. 訪問看護出向研修事業は、2018年度から島根県の委託を受け本事業を実施しています。令和２年度はコロナ禍ではありましたが、病院・訪問看護ステーションの協力を得て、２施設にて実施し成果を得ることができました。

看護研修センター

済生会江津総合病院

◆出向の実際（2018年～2020年）

実　施　年　度	2018年度	2019年度	2020年度
地　　域	松江	松江・安来・出雲	出雲・浜田
マッチング施設数	2施設	4施設	2施設
出　向　期　間	3か月（1施設） 6か月（1施設）	3か月（3施設） 17か月（1施設） （前年度からの継続）	3か月（2施設）

◆出向者・出向先管理者・出向元管理者からの報告の一部を以下にまとめました。

出向者	1）患者さんが生活者としてその人らしく最期まで地域で過ごせるするために必要な支援を考える視点が持てた。 2）訪問看護の視点でカンファレンスに参加することで在宅に必要な情報提供ができた。 3）病院での退院後訪問の充実・退院支援能力の育成に活かせる。 4）多職種がそれぞれ連携して在宅での生活を支えていることが理解できた。
出向元	1）訪問看護ステーションとの顔の見える連携強化、訪問看護への理解が深まった。 2）研修の学びを活かした入退院支援の体制づくりの強化につながる。 3）こころとこころの通う看護の連携につながった。
出向先	1）出向看護師の指導を通して、業務への理解・指導力の向上等職員への人材育成の効果が見られた。 2）病院看護師と訪問看護師の役割を共有することで、利用者と家族の暮らしを支えるため、より効果的な連携の強化につながった。 3）病院と在宅の連携強化により在宅療養における課題の共有ができた。

以上のような報告から本事業は、出向元・出向先の両者にとってメリットがあり、有意義な研修となったと考えます。

2. 「新卒等訪問看護師育成事業」報告では、訪問看護ステーションに入職された2施設の1年目と2年目の看護師と管理者の方からの報告がありました。新卒訪問看護師育成プログラムを活用し、それぞれの個性を活かし先輩看護師の指導の下、経験を積んでいきいきと前進しておられる様子が伝わりました。今後の活動にますます期待が高まる思いです。

今後に向けて

「訪問看護ステーション出向研修事業」では、研修の学びを活かし、それぞれの施設において退院支援や地域連携部門に携わり、地域との連携強化に役割を発揮しておられます。本事業の効果として、退院支援・在宅療養支援のスキルアップの目的は果たしつつあると考えられます。一方、訪問看護が担える看護師の育成については、すぐに成果が見えるものではなく、新卒等を含めた訪問看護師育成のしくみづくりの必要があると感じています。

委員会活動

保健師職能委員会の活動報告

保健師職能委員会委員長　天野　和子

今年度、保健師職能委員会では、研修会・活動交流集会の開催と職能だよりの発行を行いました。

当初予定していた研修は、ポピュレーションアプローチの考え方をもとに自らの活動をさらにステップアップすることを目的とした内容でしたが、4月以降のコロナウイルス感染症の拡大を考慮し内容を変更し、新型コロナウイルス感染症を正しく理解するとともに、コロナ禍における保健活動の展開を学び、保健師の役割を考えることにしました。

隠岐保健所の柳樂所長から、新型コロナウイルスの全体像を講演いただいたことで、これから進むワクチン接種への対応に並行して、「Withコロナではなく、Noコロナを目指す」取り組みの必要性など、予防活動を行う保健師として取り組みの方向性を獲得できたと思った保健師は多かったと思います。「コロナ感染予防のために、これほどまでに一人ひとりが自粛生活へと生活改善ができることは、これからの公衆衛生活動の取り組みに希望が持てる」という話にも勇気をもらいました。（少し表現は違うかもしれませんが）

併せて、永江副会長から、「人々の人権を守る」という保健師の使命と責任を強調していただき、県高齢者福祉課の伊藤恭子さんと松江保健所の堀江亜由美さんから、新型コロナウイルス感染症対応の保健活動を聞きました。「決して特別な対応ではなく、保健師の専門性をいかした普段の保健師活動の延長線上にある活動」と学ぶことができました。

保健師職能活動交流集会は「がん対策」をテーマに、職域・病院・行政の立場から実践報告をいただき、参加者それぞれの活動を重ねて意見交換ができました。ここでも、顔が見える関係づくりの大切さを認識できました。また、参加した看護学生から「将来の保健師像のモチベーションにつながった」と感想が聞けたことも収穫でした。多くの会員が参加し、顔が見える関係がつながるように、今後も交流集会の場を継続していく予定です。

コロナ禍の教育事業員会活動を振り返って

教育事業員会委員長　岡安　誠子

COVID-19の感染拡大の第3波によって、都市部を中心に年明けには2回目の緊急事態宣言が発せられました。地理や人口などの要因も無論あると思いますが、島根県内で感染者が生じた場合にも早期に収束がなされているのは、間違いなく看護職の皆さまを含め関係者のご尽力があってのことと感じています。

教育事業員会は、「看護職の資質向上を図るため、年間教育計画を樹立し、研修を実施する」ことを担い活動しています。令和2年度も、内容を刷新しつつ例年に倣い事業計画を立案していました。しかし、昨春以降のCOVID-19の感染拡大や1回目の緊急事態宣言を受け、8月までの研修事業は全てが中止あるいは延期となりました。「レポートの書き方」「社会人デビューをあと押し」「臨床看護研究計画立案研修」「患者教育に活かすコミュニケーション」の4事業が中止、「地域との連携に活かす感染管理」を含めた2事業が10月以降への延期となりました。

研修の企画・運営においても、見直しが求められた点がありました。企画では、募集人数の削減、一部で研修会場の変更、研修内容に関する講師との調整などが必要でした。また運営にあたっては、協会の定めた感染予防のマニュアルに則り、研修日の検温や体調の確認、手指衛生の励行、研修中の窓の開放による換気、研修後の会場の消毒などがあり、参加者の皆さまにもご協力いただきました。

COVID-19の抑制が期待されるワクチンの供給も、速やかには進まない状況が懸念され、次年度も暫くは忍耐の生活が続きそうです。COVID-19は我われにとって間違いなく「禍（わざわい）」です。しかし、私たちがパンデミックを経験したことにより得られた知恵や、何気ない日常の有難味のように改めて再認できたことも多かったように思います。

令和3年度も感染予防と日常生活（学習活動）を継続し、この2つを上手く両立していけるよう皆さまと共に逞しく進んで参りたいと思います。

支部活動

コロナ禍での支部活動

雲南支部長　井上　泉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支部総会は新旧役員のみの参加で縮小開催し、書面での報告となり、また、支部総会後の第1回研修会も参加者の安全を考慮し中止となりました。まちの保健室は、イベント型で実施予定でしたが、参加予定のイベントがすべて中止となり残念ながら実施することができませんでした。

第2回研修会企画時雲南圏域で発生があり、役員で協議を重ね、集合研修は難しいと考えましたが、会員の方々の役に立つ、時勢にあった研修を何かできないかという思いから、コロナ関連の紙面研修を企画しました。感染管理認定看護師　茂富良太看護師に依頼し、「withコロナの院内感染対策」というテーマで、研修内容は、新型コロナウイルスに関する情報、感染経路、院内感染対策、ゾーニング、コロナウイルスの特徴と消毒、日常生活で気を付けること等とても解りやすい資料でした。施設によってはデータを送り、時間制約なくパソコン上で閲覧できるようにしました。アンケート結果では、「とても参考になった。マニュアル作成に活かしたい」「引き続き感染予防の啓発を徹底していく必要があると感じた」「隠れたリスクがわかり注意し予防したい」「タイムリーな研修であった」などの言葉をいただき、会員の方々の役に立つことができたのではないかと感じました。

コロナ禍の厳しい状況が続きますが、皆様の力をお借りしながら、今後も支部活動が充実したものになるよう努めていきたいと思います。

初めてのリモート研修を開催しました

浜田支部長　大濵　理砂

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により支部総会・研修会・まちの保健室等様々な支部活動を中止せざるを得ない事態になるという初めての経験をしました。しかし今回、浜田保健所長の村下伯先生の協力のもと、配信・録画という初めての方法で済生会江津総合病院と浜田医療センターの2会場を繋いで1月16日にリモート研修会が開催できました。直前に圏域内で感染者の発生もありましたが、各施設の感染対策に則り参加者は18名（支部役員含む）の少人数とし大きな混乱なく開催できました。

昨年初めから未知の感染症は猛威を振るい、緊急事態宣言による自粛生活を経験するなど新型コロナウイルス感染症は「人と人の繋がり」を阻害し私たちの生活様式や生活そのものさえも大きく変化させました。そこで「コロナ禍における地域包括ケアシステム」をテーマに、県西部（浜田圏域）の新型コロナウイルス感染状況とコロナ禍における地域包括ケアシステムの推進と地域の取り組みなどお話し頂きました。Withコロナの今、高齢者の多い当地域での暮らしを支える地域包括ケアシステム「人と人の繋がり」「人と機関の繋がり」について一緒に考えることができました。参加者からは、「感染対策を行いながら人と人のつながりを絶やさずケア支援できるよう考えていきたい」「患者・家族との直接の関わりが持てなくても、電話などを活用して繋がりを絶やさないようにしていきたい」「タクシー会社の買い物支援、青空カフェなどを活かしていきたい」「移動販売を初めて知った」など人と人の繋がりに関する意見が多くありました。

また、会員施設や個人会員へ研修録画したDVDを配布し、125名のアンケートが回収でき現在集計中です。会員からは、「都合で参加できない会員も研修受講ができより多くの会員が参加できるので良い」「自分のペースで研修受講ができ良かった」などの意見がありました。今後もリモートを活用するなど感染予防対策を徹底し、より多くの会員が支部活動に参加できるよう工夫していきたいと思います。

認定看護管理者教育課程 ファーストレベル修了

専任教員　石井　朋子

今年度はCVID-19 感染防止のため、定員を40名とし募集しましたが、応募数は55名と例年になく多く、認定看護管理者教育運営委員会で選考基準に基づき受講者を決定しました。

講義は対面授業を中心とし、一部リモートによる遠隔授業もありました。感染対策において講師及び受講生の協力もあり、無事に全教育日程を修了することができました。受講生40名全員が修了式を迎える事が出来ました。

ファーストレベル教育課程を受講して学んだ事

東部島根医療福祉センター　吉松　裕美

私は教育委員として10年以上スタッフの教育・指導を行ってきました。そのため、人材管理の講義は興味深く、現場に生かすための知識を習得したいと強く思っていました。これまで自分の指導が正しいか、疑問を持ちながらやってきました。講義で効果的な教育を実現するための学習プロセスを学ぶことができ、これまで学習者中心の指導をしていなかったと気付きました。また、成人学習の原理とモチベーション・マネジメントとして、動機づけやスタッフ個々の存在を承認する重要性を学びました。ファーストレベル修了後は現場でスタッフの価値観の理解とフィードバックを意識するようになりました。今後、スタッフの能力や自律性、成長を引き出せるように、コミュニケーションスキルを養っていかなければならないと思っています。

私はスタッフ看護師ですが、ファーストレベル教育課程全体を通して見えてきた課題を今回の学びを生かし、自分の立場で実践に移せるように努力したいと思います。そして、利用者の心の声に耳を傾け、最適な看護が実践できる部署にしていきたいです。

公益社団法人 島根県看護協会創立40周年記念品について

本会は創立40周年を迎え、令和2年11月1日に記念事業として式典と特別講演を実施しました。

創立40周年の節目にあたり、会員一人ひとりが島根県看護協会の歴史と共に、看護職能団体について理解を深め、ともに歩みを進めていくことを願い記念品を贈ります。

<記念品>　SDGsバッジ　「しまねかんご40周年」裏面に刻印があります。

<記念品の選定理由>

SDGsの取組みは、島根県看護協会の使命「人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する」および活動理念に合致するものです。2020年創立40周年記念の年を機に、会員一人ひとりが、これからの10年間のめざす目標を改めて共通認識するとともに、その取組みを社会に向けて発信していけることを願い選定致しました。

<SDGs について>

SDGsは、「誰ひとり取り残さない(leave no one behind)持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動計画)」の中で、2030年を達成年限とし、17の目標が掲げられました。現在、世界中で達成に向けた取り組みが進んでいます。

2020年は、ナイチンゲール生誕200年にあたり、世界中で展開されているNursing Nowキャンペーンのきっかけとなった英国の議員連盟の報告書では「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標のうち、以下の3つの目標に貢献すると結論づけています。

目標3:すべての人に健康と福祉を住民の健康を支える　⇒　住民の健康を支える看護モデルの確立
目標5:ジェンダー平等を実現しよう　⇒　可能性の拡大:より自律した専門職へ
目標8:働きがいも経済成長も　⇒　看護職のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の推進

日本看護協会においてもこれらに対し、取組み方針を掲げて、キャンペーンを展開しています。

令和2年度　第5回理事会

【協議事項】

1　令和3年度重点政策･重点事業
2　令和2年度事業報告
3　島根県看護協会 訪問看護ステーションに関する検討会
4　島根県看護協会創立40周年記念品について
5　令和3年度委員会について
6　令和3年度事業計画
7　島根県看護協会通常総会における役員等の選任方法の変更について

承認

8　令和3年度島根県看護協会通常総会特別講演の講師について
9　令和3年度「看護の日」記念のつどい･Nursing Now キャンペーン事業
10　令和3年度島根県看護協会 見込み会員数
11　島根県看護研修センター 本館屋上防水改修工事

承認

【報告事項】

1　全国准看護師理事会会議
2　看護師資格の活用基盤強化を考える会(WEB会議)
3　都道府県看護協会広報担当役員会議
4　Nursig Now:看護の力で未来を創る(web配信)
5　看護協会長･看護連盟会長合同会議
6　島根県看護協会のうごき
7　令和2年度支部別･職種別会員数･キャリナース登録者数
8　令和2年度委員会･支部事業報告について
9　支部会計令和2年度決算について
10　2021年度看護協会会議等行事予定

令和2年度　第6回理事会

【協議事項】

1-1　令和3年度重点政策･重点事業
2-1　令和2年度事業報告
2-2　令和3年度事業計画
2-3　令和3年度収支予算書
2-4　令和3年度島根県看護協会通常総会について
2-5　令和3年度島根県看護協会長表彰の推薦について
2-6　令和3年度特別委員会について
2-7　令和3年度看護の日記念式典･Nursing Nowキャンペーン事業の開催について
3-1　公益社団法人島根県看護協会職員就業規則･給与規則の変更
4-1　島根県看護協会と公立法人島根県立大学との連携事業について

【報告事項】

1-1　日本看護協会第5回理事会･法人会
2-1　全国看護基礎教育担当役員会議(WEB会議)
2-2　都道府県看護協会政策責任者会議(WEB会議)
2-3　都道府県看護協会医療安全担当役員会議(WEB会議)
3-1　島根県看護協会のうごき
3-2　令和2年度看護協会会員数(支部別･職種別、キャリナース登録数)
3-3　人事に関すること

トピックス

2021年度 医療安全管理者養成研修

改訂された指針に準拠した医療安全管理者養成研修を開始。インターネット配信研修と都道府県看護協会と連携した、全国各地での演習を組み合わせた形での研修です。

島根県看護協会 集合研修

日時　10/2(土)　10:00～16:00

医療安全管理者養成研修の詳細は、日本看護協会および島根県看護協会ホームページをご覧下さい。

ナースセンターだより

定年退職前後の看護職
プラチナナース研修会を開催しました

日　時：令和3年1月29日（金）
10：00～12：00
場　所：島根県看護研修センター
参加者：11名

定年後に今までの経験を活かして、ライフプランにあった働き方や生き方を考える機会とするために、年金などの制度について学習しました。

講師：村松 文治 先生
（特定社会保険労務士）

体験談発表
森脇 三重子さん
（訪問看護STやすらぎ）

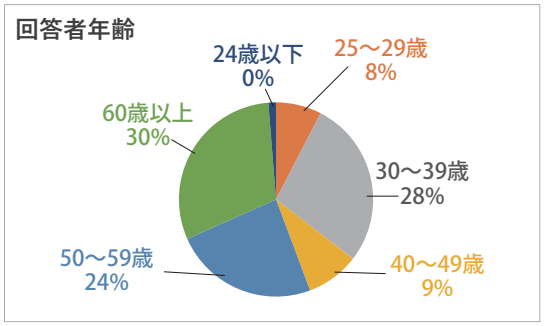
アンケート結果（抜粋）

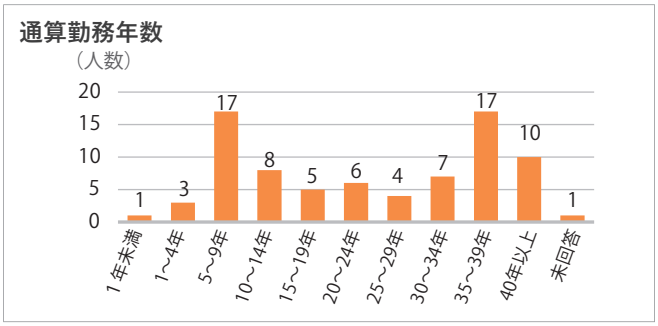
●定年後も自分らしくイキイキ生活するためのヒントを得たいと思って参加しました。

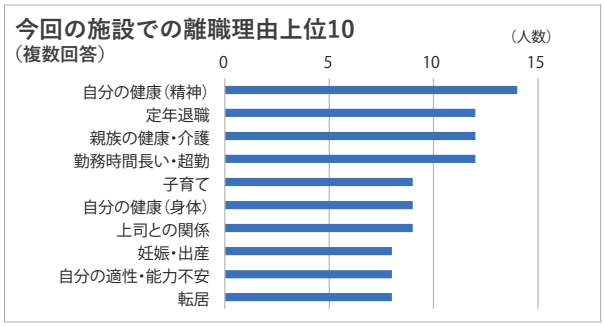
●難しかったけど年金の仕組みや制度について聞けてよかった。帰ってから資料を見て勉強します。

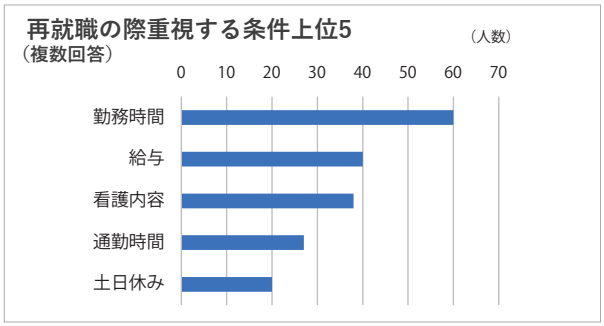
令和2年度 看護職離職者実態調査結果（抜粋） 10～11月実施

平成31年4月～令和2年3月に離職時の届出登録をされた看護職に調査票を郵送し、79名から回答をいただきました。（回収率40%）









★回答者年齢、通算勤務年数から50代以上35年以上勤務のプラチナ世代と30代5～9年勤務の子育て世代の離職が多いことが分かります。

★離職理由トップは「自分の健康（主に精神的理由）」で18%（14人）と昨年より4ポイント増加し、メンタル面のケアの重要性が伺えました。「親族の健康・介護」、「子育て」「妊娠・出産」も上位にありプラチナ世代、子育て世代のライフイベントも大きな離職理由となっていました。一方、再就職の際重視する条件は「勤務時間」が76%（60人）と圧倒的に多く、毎年同じ傾向です。ライフイベントと仕事の両立のためにも、時間の確保は大切でヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）づくりが急がれます。

★再就業に関して新型コロナウイルス感染症の影響があった人は21%（17人）でした。「家族の反対」や「新職場での高齢者の感染・重症化への不安」「感染対策」「再就業先の休業」などが寄せられました。
ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

島根県ナースセンターは
看護職の はたらく を支援します。

職場を辞めたら「とどけるん」に届出ましょう!!

届出方法は？

届出ハガキ

パソコンかスマホ

看護師等の届出サイト
とどけるん

ねえねえ知っちょった?
職場を辞めたら届出せんといけんらしいわ。

知らんだったわー。

平成27年10月1日から、看護職の免許を持っちょっても仕事しちょらん人は、名前や住所等ナースセンターに届け出る制度で、職場を辞めたら届けでーのが、努力義務だげな‥

フーン
でも、次の仕事も決まっちょうけん、届けんでんでもいいがね。

次の仕事が決まっちょっても、届けんといけんらしいよ。

届けでたらなにしてもらえーかね?

届けでーと、ナースセンターから研修の案内や求人票、あかね雲を送ってもらえーと。

どげやって届けでーだかね。

届けでーには、パソコンやスマホ、届出のはがきでも良いげな。

ほんなら、スマホで、登録してみーわ。

移動ナースバンクをご利用ください!!

相談無料　秘密厳守

移動ナースバンク(就業相談会)

地　域	会　場	開催日時
松　江	ハロワーク松江	毎月第3水曜日　14:00～15:30
出　雲	県立中央病院	毎月第3木曜日　13:00～16:00
	パルメイト出雲	毎月第2木曜日　13:00～16:00
雲　南	ハローワーク雲南	毎月第2水曜日　13:00～16:00
大　田	ハローワーク石見大田	毎月第4水曜日　13:00～16:00
浜　田	ハローワーク浜田	毎月第2水曜日　13:00～16:00
益　田	ハローワーク益田	毎月第3水曜日　13:00～16:00

当面の間、松江は予約が必要です。予約先：ハローワーク松江　☎0852-22-8609

コロナウイルス感染予防対策を取って、皆様をお迎えします。

相談員は
一人一人に寄り添い支援します

＊看護師の資格を持った相談員が就職の相談だけでなく、お悩み事の相談や施設訪問にも同行します。
※雇用保険受給者の求職活動に該当します。

令和3(2021)年度4～9月 ナースセンター研修

受講者募集中

2021年度訪問看護師養成講習会(訪問看護人材養成基礎カリキュラム)
5～12月　※申込締切　4月16日(金)

再就業チャレンジ講習会　5,6,7,8月

技術研修会　9月

※ホームページ(島根県ナースセンター)に詳細を載せています。

お問い合わせ
島根県ナースセンター
☎0852-27-8510

祝！ご卒業 おめでとうございます

看護のプロフェッショナルとして第一歩を踏み出される皆さまへ

来るべき、人生100年時代。看護の重要性は高まる一方です。「もっと良い看護がしたい」と思ったとき、ともに考え解決策を見つける場のひとつが看護協会です。未来に向かって、一緒に歩んでいきましょう。

県内看護師等養成所11校の卒業生415名に本協会から卒業のお祝いとしてハンドクリームとマスクを贈呈しました。

スタッフで袋詰めしました！

出雲医療看護専門学校卒業生の皆さま

お知らせ INFORMATION

2021年度 島根県看護協会通常総会

日時　2021年 5/29㊏　13:00～15:30

会場　ビッグハート出雲

○新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年の総会規模を縮小し130名規模で開催します。詳細については、次回あかね雲175号（総会特集号）にてご案内いたします。

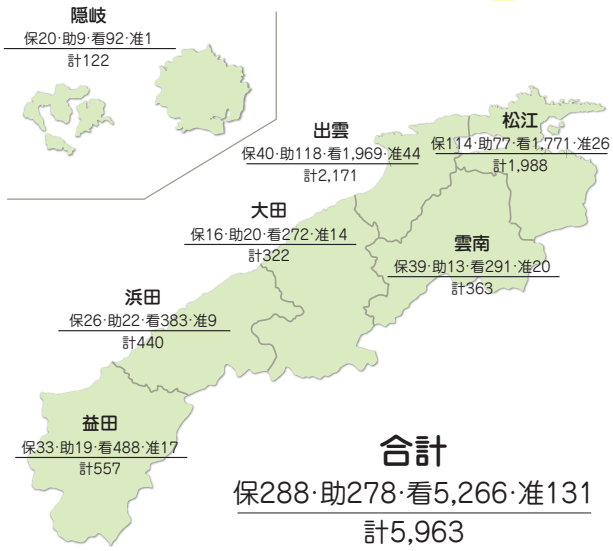
○当日の参加受付は致しませんのでご留意ください。
午後1時（受付は12時から）開会ですが、特別講演は行いません。

「看護の日」記念の集い

日　時：2021年5月9日（日）　12：30～16：00
会　場：くにびきメッセ多目的ホール（1階）
内　容：高校生の看護エピソードの発表他
日本看護協会「看護の日・看護週間事業」
開催スタジオからLIVE配信をうけて、
パブリックビューイング会場を設置します。

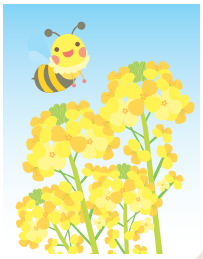
支部別・職能別会員数（合計）

（令和3年2月28日現在）



合計
保288·助278·看5,266·准131
計5,963

編集後記



日差しの暖かさに春の訪れを感じるこの頃ですが、皆様いかがお過ごしですか。
新型コロナウイルス感染症という未曾有の出来事により、私たちの生活も大きく変化していますが、希望に満ち溢れた新人看護職員を迎えて、新年度の新たな目標に向かって一緒に頑張っていきましょう。

【発行日】令和3年3月25日　【発行責任者】秦　美恵子　【編　集】公益社団法人島根県看護協会
〒690-0049　松江市袖師町7-11　TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
https://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp